

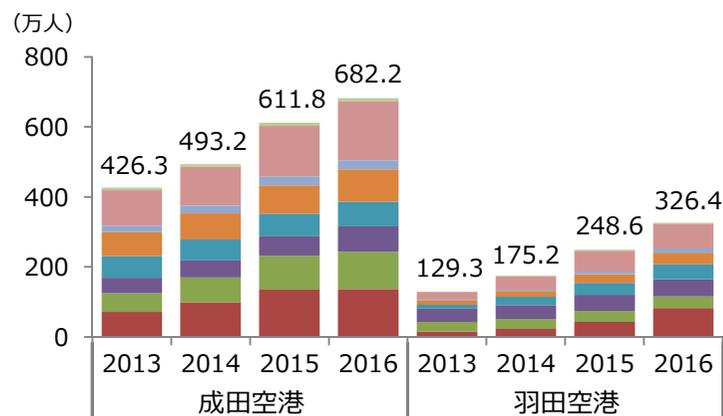


「数字で見る埼玉県春日部市のインバウンド」

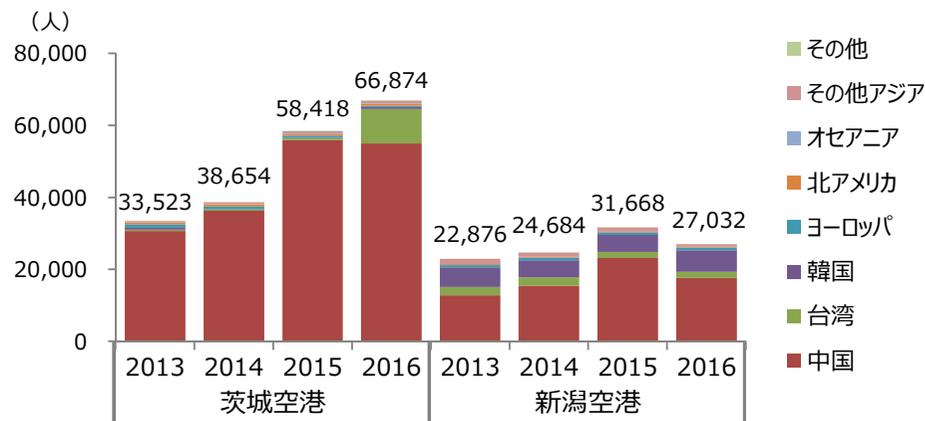
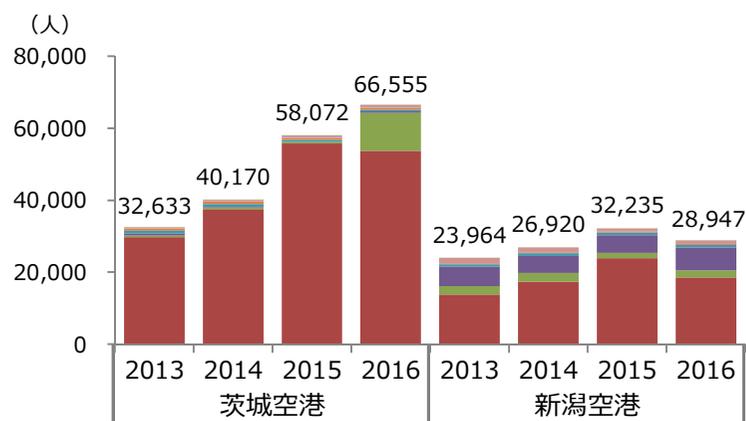
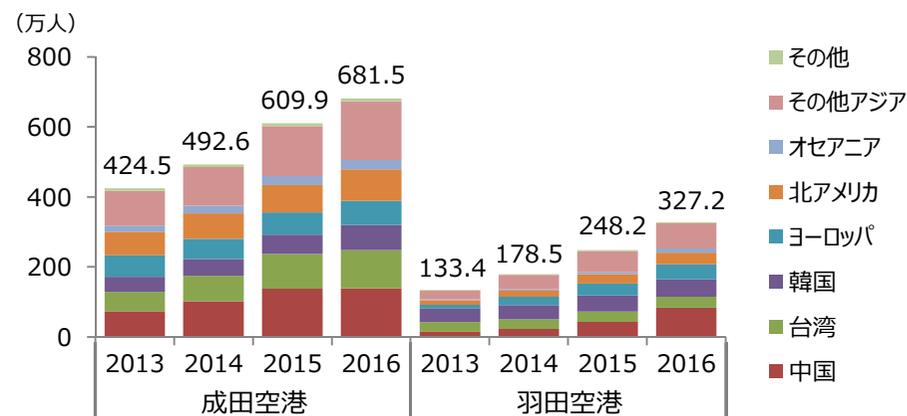
空港別／国・地域別訪日旅行者数

- ◆ 春日部市につながる玄関口としての空港は、成田・羽田空港に加え、近年東アジアへLCC（格安航空会社）が多く就航している茨城空港、到着後、新幹線で新潟駅から東京方面に向かう新潟空港がある。
- ◆ 新潟空港以外はここ4年間一貫して入国者・出国者ともに増加している。
- ◆ 成田・羽田空港は世界中から幅広く来ているが、茨城・新潟空港は中国の占める割合が非常に高い。茨城空港は2016年に台湾が増加し、新潟空港は韓国が次いでいる。

空港別 国・地域別入国者数

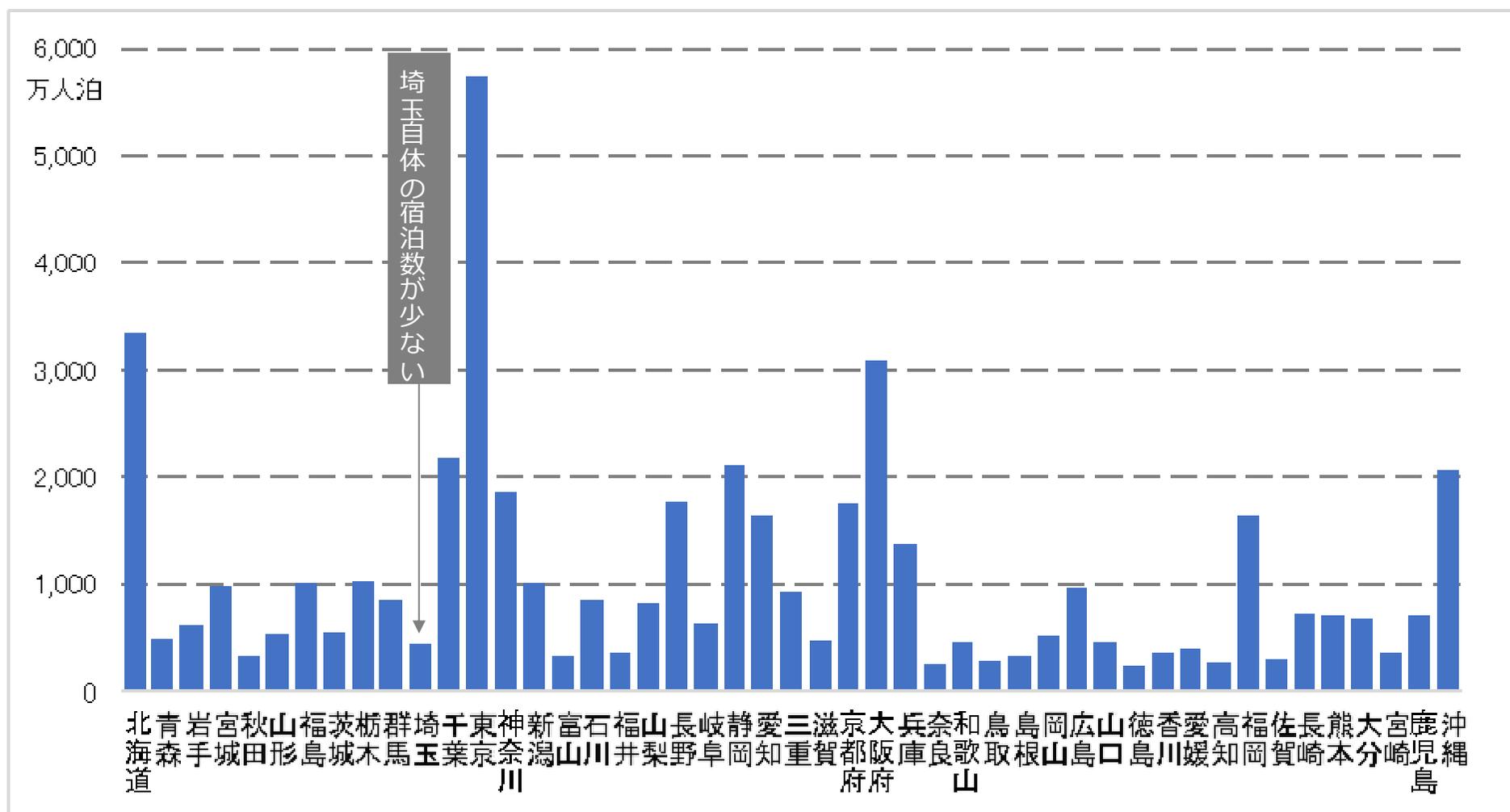


空港別 国・地域別出国者数



県別外国人宿泊数

◆ 東京は外国人宿泊需要の約1/4が集中する最大の観光地。春日部はそこから電車で1時間以内の立地である。

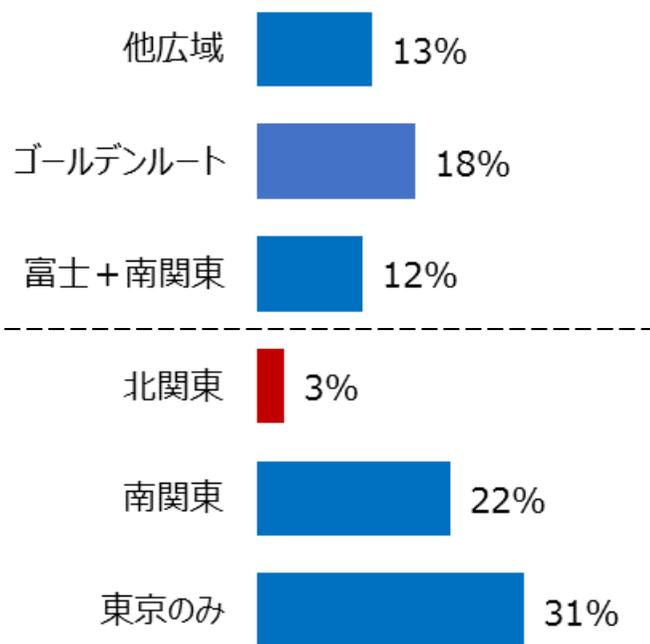


データ出典：観光庁「宿泊旅行統計」2016年 延宿泊者数(1人が2泊した場合2人とカウント)

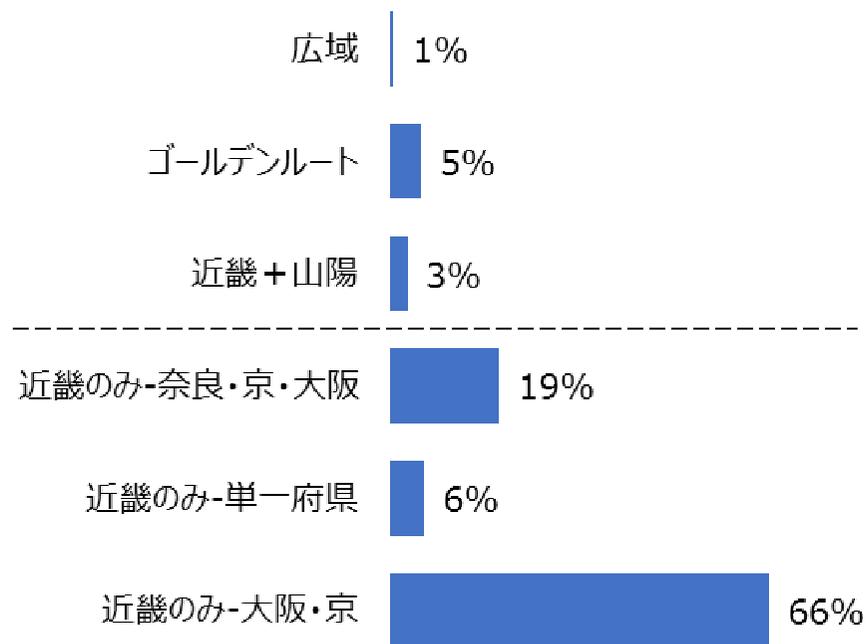
首都圏、及び関西で入国した訪日客の訪問地

- ◆ 首都圏は関西に比べ域内（特に北関東）での訪問率が低い傾向がある。
（広域を周遊する欧米からの旅行者の比率が高いことも一因）

首都圏 2 空港で入出国した
旅行者の訪問地



関西空港で入出国した
旅行者の訪問地

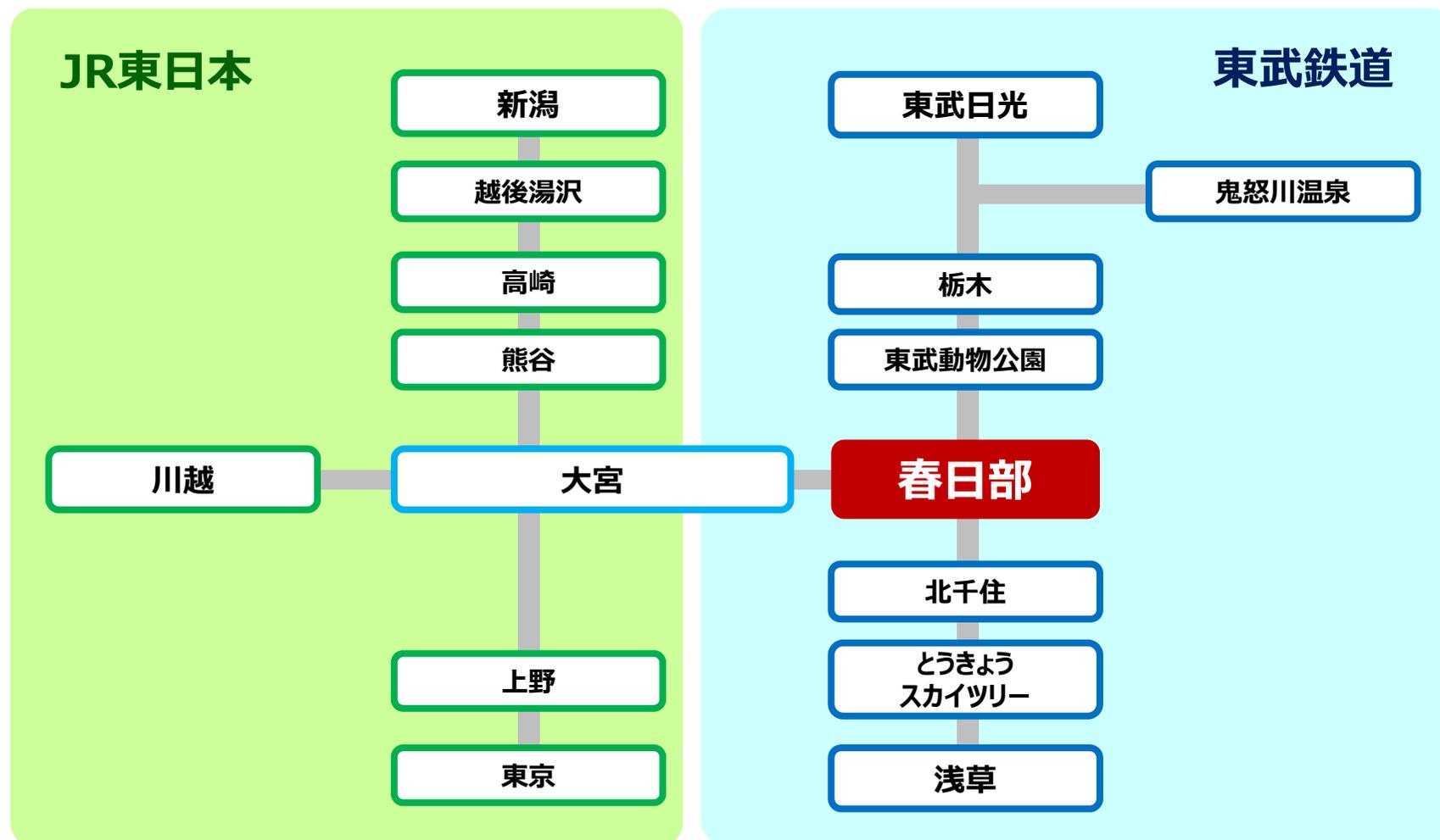


出典：JNTO市場分析レポート2015年10月

観光庁「訪日外国人消費動向調査」2014年のデータを用いて首都圏 2 空港、及び関西空港で入出国した旅行者がどのような地域を周遊したか分析したもの。ゴールデンルートとは首都圏と関西の両方を訪問するパターンを指す。

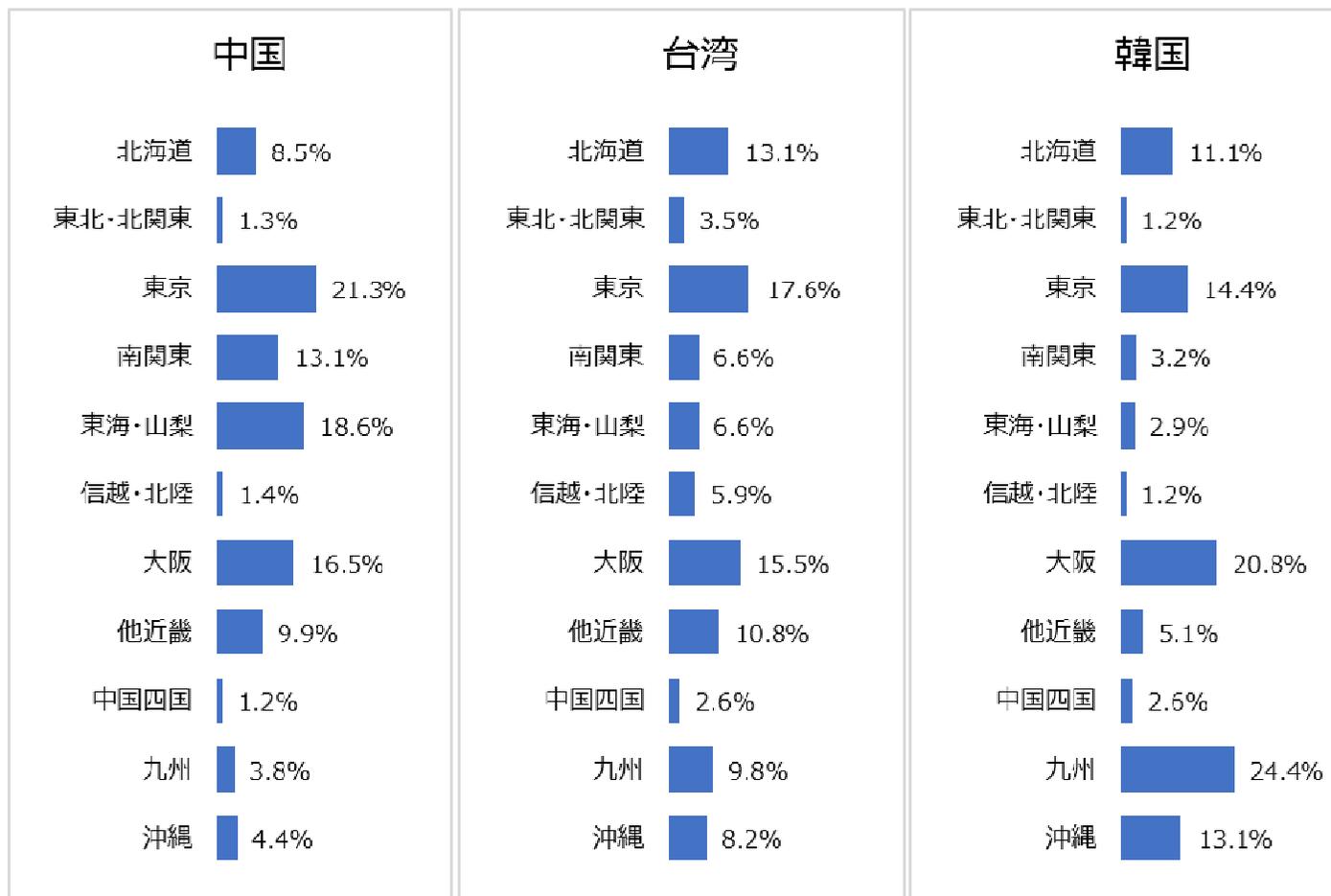
春日部市の誘客ルート

- ◆ 主なインバウンド客の誘客ルートとしては、東武鉄道で直通している浅草←→日光ルートと、東京・上野や新潟からJR大宮駅経由で誘客するルートが考えられる。



主な国籍別に見た外国人の宿泊地の分布

- ◆ 春日部に来訪していると考えられる主な国籍の旅行者の宿泊地分布。中国は大都市とその周辺への集中度が高く(初来日者の比率が高いため)、台湾は逆に分散傾向が強い(リピーターが多いため)。韓国は西日本に偏在しており(近距離性)、欧州は東京に偏在している(欧米豪などからの航空路線は成田・羽田に集中しているため)。

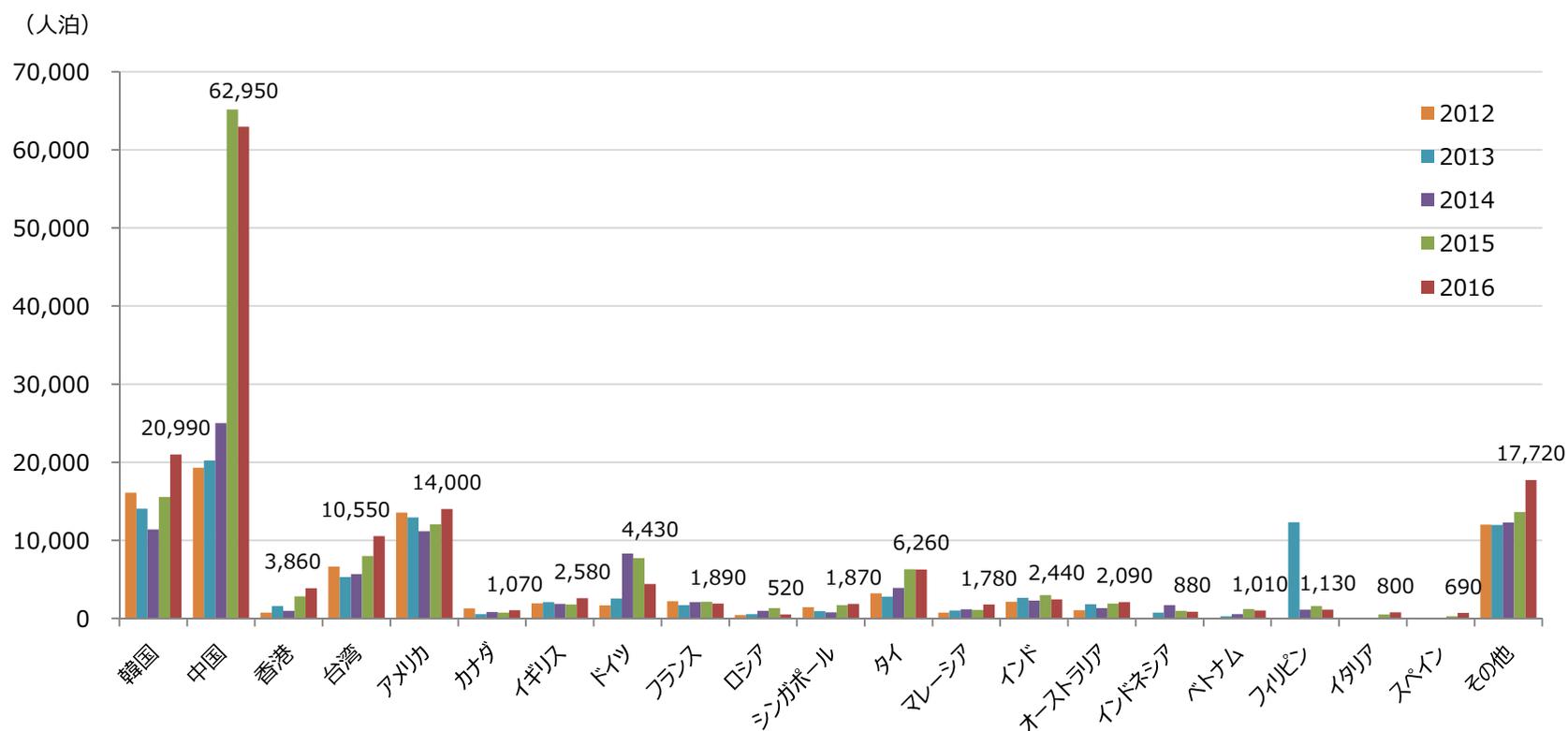


観光庁「宿泊旅行統計」をもとにJTB総合研究所が作成（2015年11月～2016年10月の数値）

埼玉県のインバウンド概況

- ◆ 埼玉県内の宿泊施設に2016年に宿泊した外国人の国籍は、中国が6万3千人泊で最も多く、韓国が2万1千人泊、アメリカが1万4千人泊、台湾が1万1千人泊で続く。
- ◆ 中国は2015年に前年比250%以上と飛躍的に増加したが、2016年はやや減少している。
- ◆ 韓国、アメリカ、台湾は2013年から継続して増加している。

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数



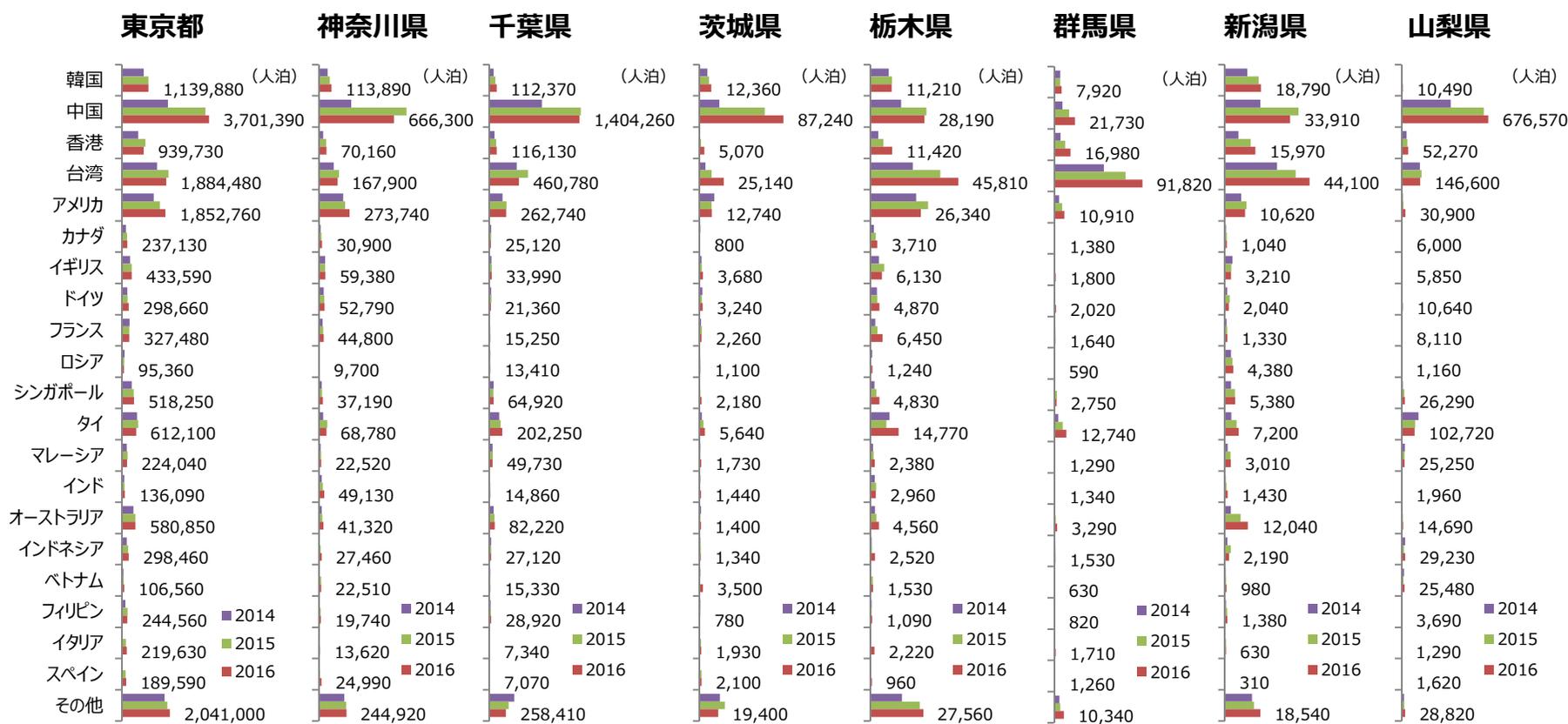
※数値は2016年

※インドネシア、ベトナム、フィリピンは2013年から、イタリア、スペインは2015年から追加

近隣都県のインバウンド概況

- ◆ 埼玉県近隣都県内の宿泊施設に2016年に宿泊した外国人の国籍をみると、中国はすべての都県で1位または2位となっているが、2016年は減少または微増にとどまっている。
- ◆ 台湾は栃木県、群馬県、新潟県で順調に増加し、中国を上回っている。
- ◆ 欧米諸国は栃木県で比較的多い。

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数

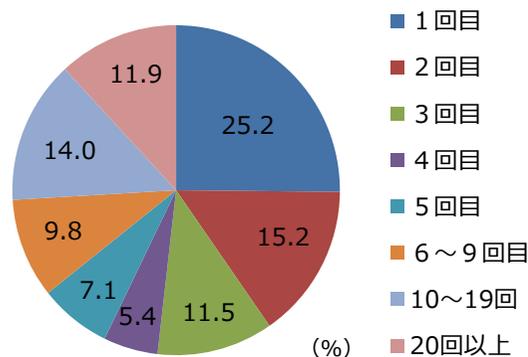


※数値は2016年
※イタリア、スペインは2015年から追加

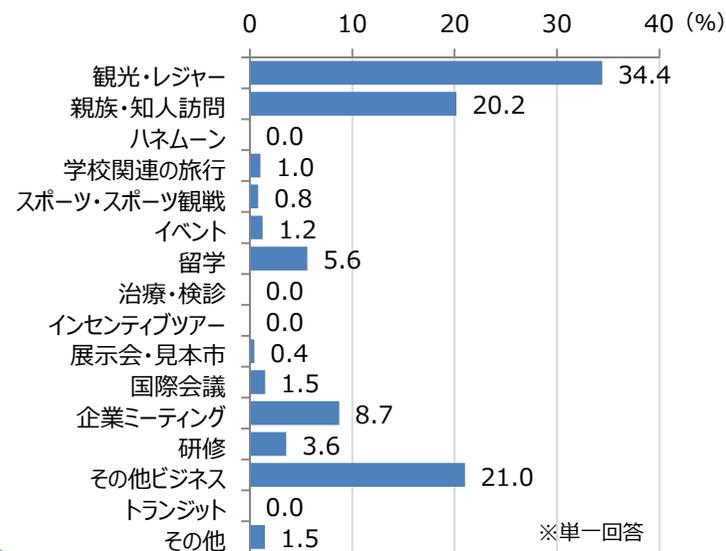
埼玉県のインバウンド概況

- ◆ 埼玉県を訪問した外国人の来日回数は、2回以上来日している人が全体の75%を占め、さらに、全体の4分の1が10回以上来日しているヘビーリピーターとなっている。訪問回数が多くなるほどローカルエリアへの訪問が増える影響もあると考えられる。
- ◆ 主な来訪目的は、「観光・レジャー」が全体の3分の1で最も多く、「親族・知人訪問」と「その他ビジネス」が約2割となっている。
- ◆ 訪日旅行の手配方法は「個別手配」が9割を占め、申込方法は「ウェブサイト」が6割、「店頭」が37%。

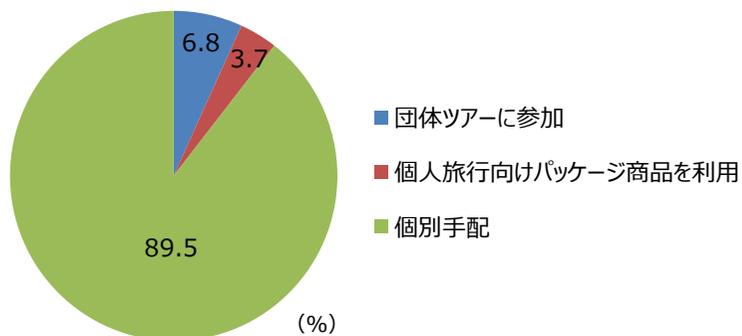
日本への来訪回数



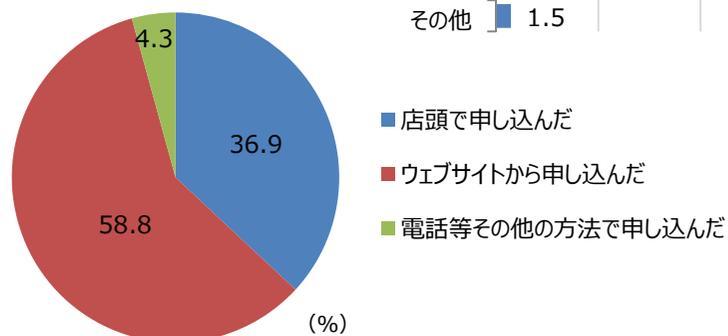
主な来訪目的



旅行手配方法

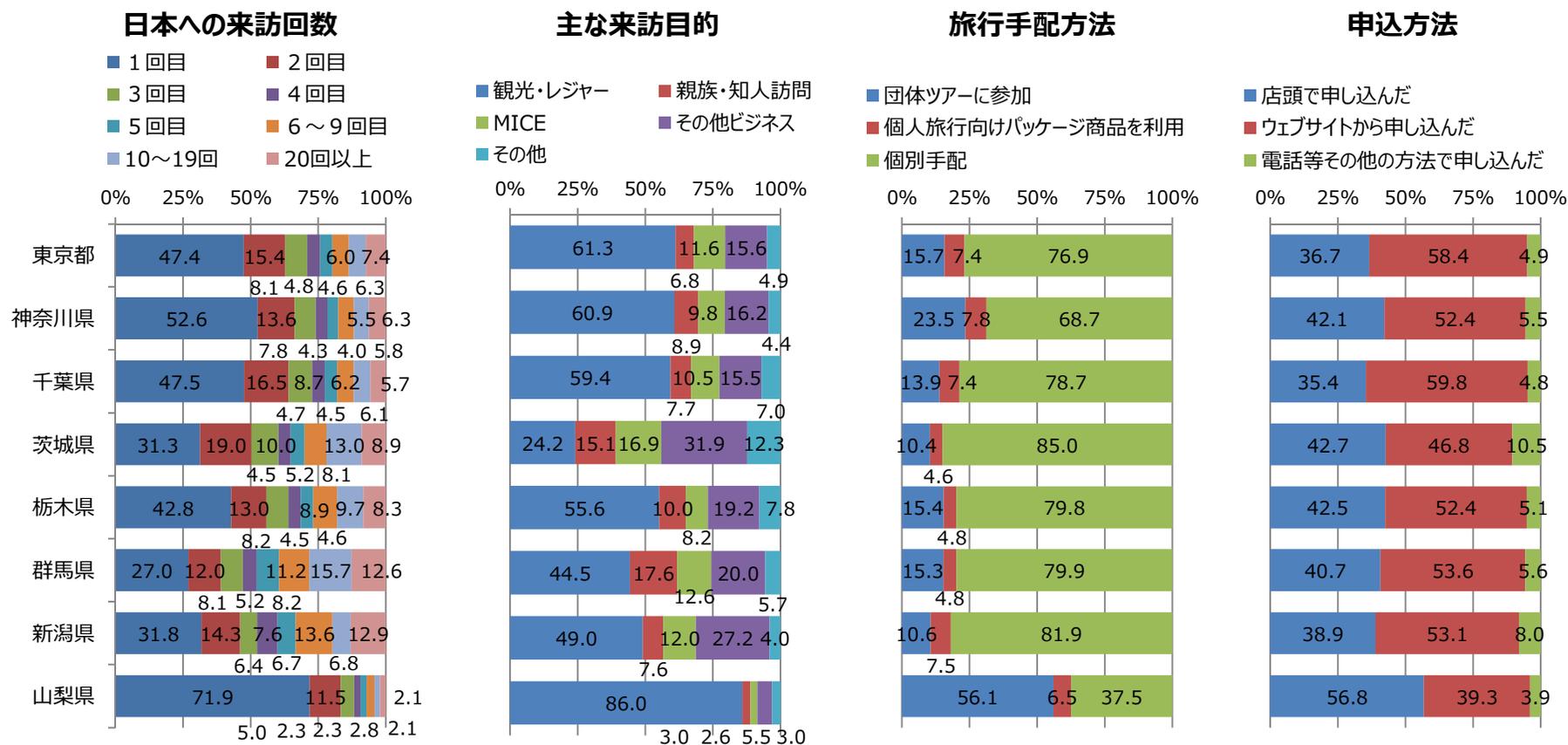


申込方法



近隣都県のインバウンド概況

- ◆ 埼玉県近隣都県を訪問した外国人の来日回数をみると、茨城県、群馬県、新潟県は2回目以降のリピーターが多くなっている。一方、山梨県は初来日した人が多くなっている。
- ◆ 主な来訪目的は、「観光・レジャー」が最も高い都県が多いが、茨城県はビジネス目的での来訪が多い。
- ◆ 訪日旅行の手配方法は、ほとんどの都県で「個別手配」が8割前後を占めるが、山梨県は「団体ツアー」が半数以上を占める。
- ◆ 申込方法は「ウェブサイト」または「店頭」での申し込みが多くなっている。



※「MICE」は「インセンティブツアー」「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」、「その他ビジネス」は「研修」「その他ビジネス」、「その他」は「観光・レジャー」「親族・知人訪問」及び左記以外の計